

ニュースリリース

2015年10月21日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

北九州市下水汚泥燃料化事業の工事竣工と運営開始について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 藤原 真一、本社：東京都品川区 以下、当社）環境ソリューション事業部（事業部長 山田 良介 代表取締役副社長）は、北九州市から受注した「下水汚泥燃料化事業」（以下、本事業）の建設工事を竣工し、運営を開始いたしました。

本事業は、バイオマス資源である下水汚泥から固形燃料（以下、ペレット）を製造し、石炭代替燃料等としてエネルギー利用することで、下水汚泥の資源化を促進すると共に、温室効果ガスの削減による地球温暖化防止に貢献することを目的とし、当社保有技術である造粒乾燥方式の下水汚泥固形燃料化システム（以下、ジェイコンビ）が採用されております。又、このジェイコンビは、乾燥熱源として日明浄化センター内で発生するカーボンニュートラルな消化ガスを有効利用すると共に、下水汚泥中の有機分を損なわず燃料に移行させ、熱量と製造量を掛け合わせた「総熱量」が高いという特徴により、温室効果ガスの削減効果を一段と高めている事が、評価を受けました。

運営にあたり、当社と株式会社ケイ・イー・エス（代表取締役 飯野 一義、本社：福岡県北九州市）は、本事業の維持管理・運営を行う特別目的会社「北九州ジェイコンビシステム株式会社」を設立いたしました。運営期間は20年間で予定し、製造したペレットは北九州市内の事業所で石炭代替燃料等として混焼利用する計画です。

又、本ペレットは「再生可能エネルギーの固定買取制度」の対象である事に加え、昨年、国土交通省が当該燃料のJIS規格化を行うなど利用環境が整いつつあり、現状ではエネルギー用途に利用された割合が2割に満たない下水汚泥の活用方法として、今後も同種の事業化検討が進むと考えられます。

ジェイコンビの納入実績は、新庄市・福島市に次いで3件目であり、更に本事業に続き「広島県芦田川流域下水道芦田川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業」が平成29年1月より運営を開始する予定です。

今後とも下水汚泥を資源・エネルギーとして活用・再生する循環型システムである下水汚泥燃料化事業を通じ、循環型社会への転換や低炭素化社会への構築に貢献して参ります。

なお、本事業の建設工事の竣工を記念し、10月20日に北九州市主催の「完成式典」が開催され、施設名称は「日明汚泥燃料化センター」に決定いたしました。



【完成式典の写真】



【日明汚泥燃料化センターの外観】

【事業の概要】

事業名 : 北九州市下水汚泥燃料化事業

事業場所 : 北九州市小倉北区西港町96番地の3 日明浄化センター内

事業期間 : ①設計・施工

平成25年3月22日から平成27年9月30日まで

②維持管理・運営及びペレットの買取・販売

平成27年10月1日から平成47年9月30日まで (20年間)

事業方式 : DBO方式 (Design Build Operate) ※

設備内容 : (処理方式) 造粒乾燥方式

(処理能力) 70 t/日 × 1系列

(処理可能量) 23,100t/年

(ペレット生成量) 7,030 t/年

※DBO方式 : 民間事業者が設計 (Design)、施工 (Build) 及び維持管理・運営 (Operate) を一体的に行い、公共が施設を所有し資金調達を行う方式

【下水汚泥燃料化事業のスキーム】



【特別目的会社の概要】

商号 : 北九州ジェイコンビシステム株式会社

所在地 : 福岡県北九州市

設立日 : 平成27年7月29日

事業内容 : ①下水汚泥の受入及び下水汚泥燃料化物の製造、買い取り

②下水汚泥燃料化物の安全管理及び販売・輸送

③下水汚泥燃料化施設の運営及び維持管理 等

資本金 : 3千万円 [出資比率] ・ 当社 50%

・ 株式会社ケイ・イー・エス 50%

【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以上